

08. 野幌森林公園から糠平

● 8月9日（火）

野幌森林公園

うす曇 ~ 晴

・朝6時起床。昨日までとは打って変わって曇空で涼しい。長袖シャツと長ズボンに着替えて、Tシャツと短パンを洗濯した。

「道の駅えにわ」の裏にある芝生広場の奥に建っている立派な建物は何だろうか、ここに泊まるたびに気になっていた。今日は予定がなくのんびりできるので、朝の散歩がてらに行ってみた。

玄関は向こう側にあり「夜間緊急医療センター」と書いてある。すごいな、夜間の急患だけの病院か?! 玄関はもう開いていたので（一晩中開いているのかな?）中に入って見たが、掃除をしている人が一人いて館内はガランとしていた。



駅裏の公園と奥に建つ「医療センター」

・今日の朝食はいつもより遅く8時頃から始まった。牛乳に昨日のパンの残りとおにぎり、野菜はキュウリをかじった。天気予報を見ると13日頃まで天気がぐずつくとのことだ。天気が悪ければ山には登らないことにしているから、今後の予定が大幅に変更することになる。今回の最大の目標はニペソツ山に登ることだから、これからはあんまり欲張らず、ニペソツ山に絞って計画を立てることにした。ということは13日までの4日間の行動をどうしようか。テレビで天気予報を見たり地図でいろいろ調べたりしてこれからの計画を検討した。

・地図をみるとこの駅のすぐ北に「道立野幌森林公園・昭和の森」というのがある。もう昼も近いし今日はここへ行ってみることにした。焼きたてのパン（この駅ではパンを焼いている）を買って牛乳で流し込んで昼食とし、今日の行動が始まった。駅を出てからまずすぐ近くにあるダイソーに寄って買い物をし、46号線をまっすぐ北上した。広い野幌森林公園の中を少し走って管理棟



管理棟「森林の家」

「森林の家」に1時ごろ着いた。

・砂利を敷いた広い駐車場には車が2台。太陽の直射を避けるためなるべく端の木陰に車を止めて「森林の家」に入ってみた。職員と思われる4、5人の人が管理室の机を囲んで雑談していた。そういえばまだ昼休みかな? 小ぢんまりとした展示場には、例によっていろいろな標本や展示物。だいたい知っている花の写真の展示を見て外へ出た。園内の乾ききった砂利道を砂埃をまき散らしながら瑞穂まで走り、ここに車を

止めて園内を散策することにした。瑞穂池まで行ってくる約2kmのコースを歩いた。自然林の中の気持ちのいい道だが、なにせ真夏は暑い！すっかり汗をかいてしまった。園内の長いコースは10km強にもなるようだが、春秋のさわやかな季節に歩いたらさぞかし気持ちがいいだろうとおもった。

・汗をかいたので風呂にでも入ろうかとナビで探したら三か所もでてきた。近くに「森林公園温泉」というのがある。

名前もいいし近いのでそこへ向かった。

その温泉は森林公園の札幌口を出てすぐ、国道12号沿いの街中にあった。こじんまりとしてきれいな温泉施設で、石鹸、シャンプーは備えていないが入場料420円は安くてうれしい。ゆっくりと汗を流して、きょうの宿泊地と決めた道の駅「マオイの丘」へむかう、国道274号線を南西に向けて一直線だ。一年ぶりで懐かしい道の駅「マオイの丘」へ3時過ぎに着いた。

・駐車地を決めて落ち着いたらあとは今日の記録整理と飯を食らって寝るだけだ。焼きうどんを肴に4時すぎからビールを飲み始め、パソコンのメールチェック、日記を書いたりして、蛸の酢漬けでビール2缶目に入った。まだ明るい6時前なのに夕食を済ませ何もやることないから寝ることにした。

・明日は「かなやま湖と保養センター」の下見と「ニペソツ山」と「ウペペサンケ山」登山口の下見をしよう。宿泊予定は「土幌」あたりだろうか。とにかく今週末までは天気が悪いらしいから、あせらず晴天を待つとしよう。日が傾くと気温が下がり風が涼しくて気持ちがいい。

・水戸ナンバーのキャラバンがエンジンをかけっぱなしでエアコンを回している、うるさくて寝られやしない！今夜も夜中に静かな場所を求めて車を動かした。



昭和の森・瑞穂池

● 8月10日（水） 「かなやま」から「糠平」、そして土幌へ 曇り時々雨

・昨夜半から雨が降り出し朝方は断続的に大雨が降った。台風崩れの熱帯低気圧が北海道に接近し、これからはしばらく雨が降り続きらしい。7時過ぎの朝食だが、車の中で食べた。雨も小降りになってきたので7時半に出発。今日はこれから登るニペソツ山や芦別岳の基地とするための宿泊地の調査と下調べを行う。



新しくできた道の駅「夕張メロード」

・まず日高を目指して東へ向かった。出てすぐの三川で給油し、国道 274 号線をぶっ飛ばし JR 石勝線の新夕張駅出た。

ここ新夕張駅の前に「夕張メロード」なる道の駅が新しくできていた。夕張岳へ登るのに去年までは少し先の清水沢駅横にある寂しい駐車公園を基地にしていたが、これからはこの道の駅が夕張岳の登山基地として絶好だ。国道 274 号線をさらに東へ向かい日高へ。途中ものすごい豪雨のなかの走行だったのでかなり疲れた。日高はしょっちゅう来ているので道の駅「樹海ロード日高」で小休止しただけですぐに北上、かなやま湖を目指した。

・後日芦別岳に登った後にかなやま湖畔にあるキャンプ場か保養センターでゆっくり泊まりたいと思い、どんどころか調査のためにやってきた。12 時前にキャンプ場に到着した。着いた時は雨模様だったがそのうち雨はすっかりあがり太陽も顔を出して暖かくなってきた。キャンプ場は道沿いに大きい駐車場とトイレが完備しており、



かなやま湖キャンプ場

目の前には美しいかなやま湖が広がっていて泊まるのには申し分ない。

すぐ後ろにある保養センターもきれいだし風呂もある。

キャンプ場の芝生では小さな子を連れた家族が夏を楽しんでいた。芦別岳に登ったあとはここで泊まることに決定した。キャンプ場の炊事場と東屋をお借りして昼食をとり、次のニペソツ山、ウペペサンケ山の登山基地の糠平を目指して出発した。

・懐かしい東ヌプカウシヌプリの登山口前を通り然別湖へ。然別北野営場を調査、ここを基地にするのもいいが、登山口までちょっと遠い。

曲がりくねった 85 号線を糠平へ下り、273 号線にぶつかるとすぐ先にウペペサンケ山登山口（糠平川林道）の標識があった。



・273号線をさらに北上すること20km、ニペソツ山登山口の標識が立っている林道（音更川十六沢林道）入口に到着した。ニペソツ山は8時間以上かかりそうだから、登山口のなるべく近くで泊まりたい。然別北麓野営場は遠すぎるので、せめて糠平あたり宿泊地を探すべく糠平へ引き返した。

・湖岸に国設ぬかびらキャンプ場というのがあるので行ってみたが、あまりにも寂しくてトイレも貧弱、泊まる気になれない。

糠平温泉入口の少し下がったところにトイレ付きの駐車場を発見！ 周りに家があって寂しくないし、トイレも水洗できれいだ。登山基地として申し分ない。ここに決めて今日の目的はすべて完了。今日の宿泊地を検討したが、273号線を南下すれば土幌がすぐだ、毎年寄っているのでも様子がよくわかっている土幌温泉に決めた。4時過ぎには土幌温泉に着いた。

・いつもと様子が違う、広い駐車場に車がいっぱいだ。それもほとんどが宿泊車だ。福井、大阪、和泉、奈良、三重、千葉、茨城、地元北見などなど、日本各地からの車が泊まっている。長いこと泊まっているらしくみんなご近所付き合いよろしく和気あいあい話をしたり食事をしたり。いままではこんなことはなかった、夏休みだからだろうか。なんとか駐車スペースをみつけて車を止め、まず温泉へ。風呂上がりのビールで今日の日も暮れた。今6時半、天気は回復の兆しがあり、暮れかかった明るい空に月が出ている。明日糠平に泊まりいよいよ明後日はニペソツ山だ。

● 8月11日（木） 「土幌」から「糠平」へ 晴

・5時過ぎに起きて外をみると、一面霧がかかっている。周りの車はまだ寝ているようだ。朝食をとっているうちに霧が晴れ日が差してきた。今日は暑くなりそうだ。予報では帯広は35度を超えるとか。明日は早朝からニペソツ山に登るため今日は糠平へ泊まる予定だ。糠平は1時間も走ればついてしまうくらい近い。今日はそれまで何をしようかと検討開始。南にある大都市、帯広へ行ってみようと思った。全く車が走っていない国道241号線をまっすぐ南下し



ニペソツ山登山口入口



気持ちのいい国道241号線

まず音更へ。広い道の両側に広がる農地には緑色の野菜が一面、ときどき黄色の面も現れ、肥料の匂いが漂ったりしてなんとも気持ちの爽快なドライブだ。天気はすっかり良くなり真夏の太陽が照りつけ灼熱の世界となってきた。

・帯広へ入った。帯広は大きな町だが、なんとなく汚い感じのする都市だ。ダイソーに寄って拡大鏡、折りたたみ椅子、短パンを購入。まだ昼前で外は日差しが暑い。さてどこで時間をつぶそうか。ナビをみると近くに芽室公園というのがある、行ってみよう。芽室公園は大きな駐車場を持った近代的な公園で、家族連れで賑わっているが日影が無くて暑い。ラッキーなことに隣に大きな木々に囲まれた芽室神社があり、



その木陰に駐車スペースが用意されていた。木陰の駐車場に車を止め、境内の木陰のベンチでゆっくり昼食をとり、日記を書いたり横になったりして時間をつぶした。

・今朝来た道をのんびり走って戻って北上し、土幌を通過して糠平へ着いたのが3時頃だった。日差しは強烈に暑いが高高度が高いので気温は涼しい。まだ時間が早いので糠平の中を探索した。

・まず明日ニペソツ山から下りてきたら、風呂に入りたいし食事作りたくないのナビで民宿を探して「グリーンぬかびら」へ行ってみた。おばあちゃんが出てきて明日の宿泊予約をした。食堂にすわっておばあちゃんといろいろ話をしたが、登山者のために朝いくら早くても食事の支度をしてくれるとのこと。「今晚も泊まって明早朝にニペソツ山に行けばいい」と言ってくれたが、今晚は昨日探しておいたトイレつきの駐車場にとまるからといって丁重に断り、明後日のウペペサンケ山の早朝立ちをお願いした。

・すぐそばに「東大雪博物館」という立派な建物があったので、覗いてみようかと思ったら、入場料を取るのをやめた。その隣には「ガイドセンター」という、これまた素晴らしく立派な箱物が建っていて、ここはタダなので覗いてみた。白亜の箱物の中には体育館や立派なホールがあり、閑散としていた。

糠平はそんなに金のある町なのだろうか。

・糠平湖は静かでいいところだ。

湖畔には国設キャンプ場がある。管理棟の二階にはスナックがあり営業しているようだったが、誰もいなかった。

糠平湖では釣りをしている人が2人いた。とにかく静かで美しいが誰もいない寂しいキャンプ場だ。



・明朝は4時までには出発したいので、まだ4時過ぎと少し早めだが駐車場に車を止めてビールで夕食にとりかかった。隣に浜松ナンバーの若い家族連れが止まり、糠平湖で釣ってきたと思われるニジマス？でバーベキューを始めた。私は6時頃にはすっかり出来上がり寝る準備。隣の浜松の若家族もここに泊まるのかと思ったら、バーベキューが済んだらどこかへ行ってしまって、車は私一台になった。

時々トイレに寄る車はあるが、泊まる車は私一台らしい。寂しいけど明日は早いし気にせず眠りに着いた。

ここは標高700mもある高原なのでひんやりと涼しい。



今日の泊まりは私一台・トイレの前